



HSMニュース

管理船に訪船してみた！

今回、当社の管理船が神戸に入港したので、当社スタッフが訪船しました。もちろん、日頃より船舶管理部の監督などは機会を見つけては訪船しておりますが、今回訪船したのは、あまり現場には行った事のない管理部の事務をしている女性スタッフと船など行った事のない総務経理の女性スタッフが当社で管理している船を実際に見に行ってみました。

当日は監督も同行して現場で船の概要を説明したり、フィリピンクルーとコミュニケーションを取ったり大変充実した良い経験になった様です。

今まで社内での話や書類では管理船について触れてはいますが、実際にどの様な大きさでどの様な設備がついていて、乗組員や監督がどの様に仕事をしているのかピンときていなかったと思います。今回一日だけですが船を目の当たりにして内部も見た事で今後も少しはイメージをしながら仕事にも励めると思います。

自分の会社が携わっている船を実際に見て自社の仕事に対する理解を少しでも深めて頂けると嬉しいですよね。

因みに、今回訪船した船は38,000dwtのバルクキャリアーで、スモールハンディと言われておりますが、実際に目の当たりにしたら大きくてびっくりした様です。全然スモールじゃない！と言っておりました。

乗組員もいつもいつも厳しい監督だけでなくたまには普段会わない会社のスタッフと交流するのも良い機会になった様です。

まあ、結局監督からはいつも通りたくさん指摘事項をつけられておりましたけど...



お客様への船舶管理システム利用サービスを開始しました！

本紙でも度々紹介しておりますが、当社関連会社で開発を行いサービスの提供を開始したクラウド型船舶管理システム「RitCH(リッチ)」については、当然当社でも利用しており日々の船舶管理業務に活用しております。

そこでこの度、管理船舶の各種情報が集約・一元管理されている当該システムを船主様や用船者様などお取引先様にも活用出来る様に一部の機能をご利用(閲覧やダウンロード)頂けるサービスを開始しました。



この2月より順次サービスの提供を開始する事とし、まずは、(1)船舶情報管理機能(船舶の各種情報が登録されており、本船の仕様や搭載機器等が確認出来、Key planなどの図面等もダウンロードが可能であり、必要な情報をParticular(要目表)として出力可能)、(2)船舶動静管理機能(船舶の入出港スケジュールや各残油、積荷情報、代理店情報等を確認でき、Sailing InstructionやBunker Delivery Note等関連書類もダウンロード可能)、(3)船舶証書管理機能(船舶の証書や検査の期限管理及びPDFでのデータ管理を行っており各証書の期限の確認及び最新の証書のダウンロードが可能)、(4)分析機能(登録されたデータを基に各種分析することが可能。現在は任意の期間を指定して本船の稼働率を計算する稼働率計算や燃料及び潤滑油の合計消費量・日毎消費量計算、港ごとの入港数や接岸時間等を計算する入港情報分析の3種類のみですが、今後順次追加予定)、の4つの機能のご利用の提供を開始することとしました。

弊社が日々の船舶管理業務にて管理・更新を行っている各種情報を、お取引先様にも自由に閲覧や関連書類のダウンロードをして頂けるサービスとなっており、船主様やオペレーター様との情報共有や利便性向上に活用できると考えております。

当社では今後も船主様などお客様への便利なサービスを提供していきたいと考えております！



このコーナーでは散歩の似合わない男「桑村」がその重い腰ならぬ重い体を上げ、日生やその周辺を散歩！魅力的なスポット・お店などを紹介していきます。

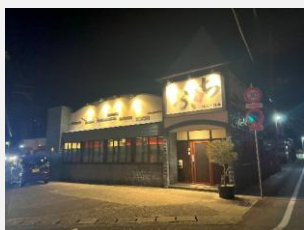
皆さんが日生方面へ出張される際の合間にちょっと寄り道したり、休日にふらっと出かける参考にして頂けるような場所をご案内していきたいと思います！

くわ散歩 第10回: 赤穂で絶品鶏料理を満喫！「居酒屋 ぶち」

皆さんこんにちは！くわ散歩では、弊社周辺や近隣等のまだ知られていない穴場やオススメのお店など、様々なスポットを紹介いたします。

今回は、赤穂市内で何度か訪れている、美味しい鶏料理が楽しめるお店にお邪魔しました。

しかし、散歩と銘打ちながら、食べ飲みの割合がほとんどで、着々と「成長」しています。今さらながら散歩とは一体・・・？



今回は日生の隣町、兵庫県赤穂市にある「居酒屋 ぶち」というお店です。
(住所: 兵庫県赤穂市塩屋299-17)。

JR播州赤穂駅からは約1.5kmほど、車・タクシーだと5分程度・徒歩だと約20分弱で、駅から日生方面に向かう途中にあるお店です。くわ散歩第2回(HSM通信51号(2024年6月発行))に掲載した「来来亭」がすぐ近くにあります。



店内は和風で落ち着いた雰囲気があり、ゆっくりと食事を楽しめます。席は4人掛けテーブルや6人掛けテーブルが複数あり、カウンター席も用意されています。

ちなみに、人気のお店で満席になることがあります。また、食べログなどで調べると「営業時間24時まで」と書かれていますが、土地柄夜遅くに来るお客様も限られているのか、22時位に閉店になる事も多いようです。そのため、利用の際は、電話で営業状況や空きを確認することをお勧めします。なお、食べログには「情報が未確定で『掲載保留』」と出てきますが、きちんと営業していますので、ご安心ください！



新鮮なお肉を取り扱っているようで、鶏刺しメニューが充実しています。この日頼んだのは、それらを一気に楽しめる「鶏刺し三種盛り合わせ」という豪華な一皿。組み合わせはその時々ようですが、この日は「朝め赤もものタタキ、砂ずり刺し、きも刺し」で、これがもう・・・お酒が進む進む。個人的はやはりきも刺しが好きでした。臭みが一切なく、とろけるような濃厚な味わいがたまりませんでした。



えび春巻き揚げです。1つが大ぶりで、中にはエビがたっぷり。食感も楽しく、これもこの店では外せない逸品です。



何度か訪れた際にはなかった「脂きも刺し」が、この日は運良く提供されていたので注文。さすが希少なメニューだけあって、その美味しさは格別でした。きも刺しよりもさらに濃厚で、クリーミーな口当たりが際立ちます。

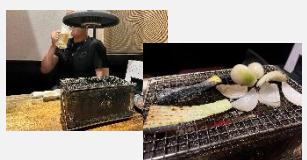
私の脂肪肝(?)も思わず共鳴する美味しさでした。しかも私の干支は酉年・・・まさに共食いですね。



ひねぼん。親鳥の肉を炙ってポン酢を加えて作る、この辺りの地区の名物料理だそうです(今回初めて頂きました)。しっかりした食感と、噛むほどに味が出て、それでいてさっぱりしているので、クセになる感じです。



そして、このお店でもう一つ楽しみなのが、この「七厘炙り」です。この日は、しり皮、もも身、ぼんじり、せせり、砂ずりを注文。ちなみに左の写真、美味しそうに焼けているように見えませんか？実は今回初めてだったんですが、この七厘に「卓上ライト」を当ててくれたんです。良い感じに煙も照らされ、視覚からも楽しめました。味はもちろん言う事無く美味しい！お肉はふわっとして外側はパリパリ。幸せです・・・！



(余談)元々秋頃掲載すべく準備していたのですが・・・この日お酒が進んでいたようで、焼き物メニューが、野菜を焼いた写真だけで、さすがに「映えなさすぎ」で掲載延期していました・・・

このお店は、お刺身や釜飯など他にも魅力的なメニューが豊富で、どれも美味しそう。しかしつい今日紹介したメニューを頼でしまい、そうするとお腹いっぱいになるので、なかなか他のメニューに手が届きません・・・笑

駅からは少しだけ離れていますが、行く価値アリだと思います！

また、日本酒の品揃えも豊富。いつもビールやハイボールばかりでしたが、次回は日本酒にもチャレンジしてみたいと思います。

それでは、次回のくわ散歩でまたお会いしましょう！

寒さで体を動かしていないので、私の「脂きも」も更に育ってきました・・・





ピックアップ!

ここでは、私共が目にして気になった記事やニュース等を紹介させていただきます。
海運に関する事や海運に関係なくても興味がわく様な内容の物を色々紹介していきたいと思ます!

こんにちは!

今回もいつも通り、締め切り間際になり取り敢えず一回酒を飲んで現実逃避してみたが、やはり現実は変わらないので、ほろ酔い状態で泣きながらこの記事を書いている中年メタボ刈上げメガネ野郎です。

今回も気になった記事をピックアップして紹介させていただきます。

皆さんはどの様に感じるでしょうか???

お金の本質?2

■ 良い借金、悪い借金

今回は、前号で紹介した「1. 貯金、2. 投資、3. 借金」から繋がる話を紹介したいと思います。

本当はまた暫く経ってから掲載しようと思っていたのですが、前号の記事が好評だったので、より我々海運の商売に通じる部分を感じられると思われる「良い借金、悪い借金」についての記事を取り上げたいと思います。

「お金を貰ったら、とにかく貯金しろ」「借金はするな」が多くの日本人の価値観

この国で生きる以上、多くの大人は子供に「貯金しろ」と言うと思います。

「お金を貰ったら、とにかく貯金しろ」と。

そして「借金はするな」と言うと思います。

これが多くの日本人の価値観です。

ここで少し「言葉」を整理したいと思います。大人の皆様の再確認がてらお付き合いください。

お金の使い方は基本的には4つです。

「貯金」と「消費」と「浪費」と「投資」です。

「貯金」というのは、お金を預けること。預ける機関によっては「預金」と言ったりもする。

「消費」というのは、生活していく上で欠かせないモノにお金を使うこと。家賃とか食費とか。

「浪費」というのは、贅沢や無駄な出費のこと。

「投資」というのは、リターンが見込まれるものにお金を使うこと。

この4つに加えて「借金」というものがある。これはその名のとおり、お金を借りること。

そして借金には「良い借金」と「悪い借金」がある。

これらの言葉に対して、日本の大人はどんなイメージを持っているか?

言い方を変えると、日本の大人が子供達に植え付けている価値観はどんなものなのか?

大体の場合、「貯金=良い」「消費=仕方ない」「浪費=あんまり良くない」「投資=怖い。あんまり良くない」「借金=絶対に良くない」といったところでは。

だけど、お父さんお母さんには申し訳ないけど(子供の手前、立場が無いんだけど)、その考えは間違っていて、たとえば「貯金」にしても「良い貯金」と「悪い貯金」があって、「借金」にしても「良い借金」と「悪い借金」があります。

なので、『借金』をしちゃいけないわけじゃなくて、『悪い借金』をしちゃいけないんです。

「じゃあ、悪い借金って何なの?」というところなんですけども、例外もありますが、基本的には「消費に使う借金は良くない」です。「家賃を払う為に借金する」とか。

たとえば10万円の家賃を払う為に「10万円」を借りたとするじゃないですか?

それで家賃は無事に払えるけど、借りた10万円は返さなきゃいけない。そしてその時、ちょっと多めに返さなきゃいけないんです。たとえば10万5,000円とか。

次ページへ続く

そうすると5,000円マイナスになるでしょ？

なので、基本ルールは「借金したお金」というのは“増えること”に使わないといけないんです。

お金が増えることにお金を使うことを「投資」と呼ぶんだけど、「良い借金」というのは「良い投資」に使う借金を指します。

こういう感じで、「良い借金」と「悪い借金」というのは、借りたお金の使い道で違ってくるんですね。

お金持ちは、投資に使う借金は「得」、「貯金がある」状態を「損」だと考える。

そんなこんなで、『お金持ちは積極的に「借金」をする』です。

これ、ちょっと気になりますよね？

「え？ お金持ちってお金を持ってる人のことでしょ？ なんで、お金を借りるの？ 自分のお金を使えばいいじゃん」と思う人がいるかもしれません。

これ、全員が全員じゃないので言い切れないんですけども、お金持ちが持っているのは「お金」じゃなくて「資産」だったりするんです。別荘とか、土地とか、株とか。(もちろんお金も一般の人達よりたくさん持っているとは思いますが)

「じゃあ、お金は何に使ってるの？」というところなんですけども、彼らの「お金」は「お金が増えること」に使われているんです。「投資」ですね。

なので、意外と手元にお金が無かったりするんです。持ってるお金はほとんど「投資」に回しているから。

だけど、社会的信用はあるので、銀行からまとまったお金を借りることができるんですね。

銀行から、まとめて10億円とか借りたりしているんです。

そして、「その10億円を全て投資にまわして、15億円を生んで、その後、銀行に10億円チョットを返す」というようなことをしています。

あまりにも極端な例だけど(実際はこんなにサクサク進まないよ)、この場合だと、このお金持ちは、手元に10億円があったら、15億円を作れるわけじゃないですか？

ということが分かっているから、毎月100万円ずつ貯金して、1000ヵ月後に10億円を貯めて、そこで投資するぐらいなら、今、10億円を借金して、その10億円を使って、今、15億円を作って、今、銀行に10億円チョットを返した方が得なんです。お金持ちが、お金持ちなのに借金をする理由はコレです。

持っているお金は「投資」に回して、手持ちのお金が無くても「借金」して、それも「投資」にまわす。

つまりお金持ちというのは、投資に使う借金は「得」だと考えているし、「貯金がある」という状態を「損」だと考えている。

ここはメチャクチャ大事なポイントなので、是非、親子で話し合ってみてください。

=====
ということで、如何でしたでしょうか？

この海運業界にいる皆さんですととても理解し易い話ではなかったでしょうか。

特に船主業においては共通する部分が多かったのではないかと思います。

金額について言えば文中の例としてあげられている金額よりはるかに高い金額の船舶を扱っているということもゴロゴロあるでしょうし、皆さん当たり前の様にこの記事に書かれている事をしているわけですから、改めてこの業界の面白さやすごさを再認識する記事でもありました。

但し、前回も書きましたが、この「良い借金」をするには知識が必要であり、また、経験も重要な要素になってくるでしょう。

その知識や経験を基に良い借金、良い投資を行い、良いお金儲けをすることが重要であると思います。

十分な知識もなく、良く考えずに借金をして投資を行い痛い目を見る、という事が無い様にそこは注意が必要だと思います。正しく理解し、知識を養い、そしてその知識を活かして正しくお金を使うことが大事だと思います。

私は、まだまだ知識にも乏しく、また根っからのビビリなので、この話を理解したとしてもその様な大きな借金(投資)には中々踏み出せない様に思います...(そもそもその様な借金が出来る程の信用が無いですが...)

そう考えると改めて、やはり船主さんをはじめこの業界の人達はすごいなーと感じました。

皆さんはどの様に感じたでしょうか？

今さら聞けない

海運基礎知識 「Welding Safety Inspectionについて」

今回は、「Welding Safety Inspection」を取り上げてみたいと思います。

実は私も最近まであまり意識していなかったのですが、RightShip Inspectionを通して否応なく意識せざるを得なくなりました... 当社においてはまだそれ程多くの経験はありませんので簡単に触れてみたいと思います。

「Welding Safety Inspection」て何？

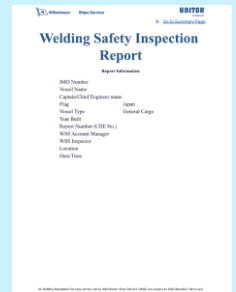
- Welding Safety Inspectionは、その名の通り、溶接に関する安全検査のことをいいます。
- 本船上の溶接機器やその付属品、ガス機器等の安全性と動作状態をチェックして評価します。
- 専門のサービスエンジニアが本船上の溶接設備を徹底的に調査し、不適合箇所を特定し、安全性向上の為の提案を行うレポートが提出されます。
- 当社はタンカーを管理しておりませんが、タンカーでは必須のSIRE (Ship Inspection Report Programme) においては、当該Inspectionは以前から検査項目とされておりましたが、RightShipにおいてもそれらを踏襲しており、このWelding Safety Inspectionの年次での実施を要求しております。

「Welding Safety Inspection」は誰がするの？

- Welding Safety Inspectionは、溶接に関連する各機器や設備等に精通している十分な知識を持ったエンジニアが実施します。
- RightShipにおいても専門のエンジニアによって行われる様要求しております。
- 基本的には、溶接機器など関連のメーカーのサービスエンジニアが実施することになります。
- 因みに、当社の場合は、Unitor製品を取り扱っており、管理船の酸素やアセチレンなどのガス及び関連機器の手配もして頂いているWilhelmsen殿に依頼しております。世界的にネットワークもあり実績もあるので安心です。

検査の内容は？

- 検査は、前述したメーカーなどのサービスエンジニアが70以上もの多くの点検項目を時間を掛けて念入りにチェックしていきます。(実施する前は、溶接機器関連のみであり、ちょっと甘く考えていました...)
- 検査項目は、以下の内容がカバーされており、それぞれ詳細にチェックされます。
 - 電気アーク溶接機器および付属品
 - 個人用安全装備
 - 各種消耗品の状態
 - 酸素・アセチレンボトル
 - ガス供給システム
- 上記の通り船上の溶接設備が徹底的に調査され、不適合箇所を特定し、推奨事項含めた詳細なレポートが提出されます。



以上、簡単ではありますが(手を抜いたわけではありません!)、「Welding Safety Inspection」について触れてみました。タンカーにおいては、当社が管理しているバルカーや一般貨物船などと比べても火災や爆発は特に危険であり、以前よりSIREなどで厳密にチェックをされておりましたが、正直なところ我々はそこまでの意識を持っておりませんでした。管理船が14歳を超えたことで、昨年よりRightShip Inspectionを受検しており、その中でも必ずチェックをされますので、それにより当社でも注意をする様になりました。

実際に、溶接機器や消耗品類は摩耗もするし、劣化もするでしょうから、安全上の問題になるのも事実であり、船上での安全な溶接作業を確立するためには、この様な定期的な安全検査も必要であるということを実感しました。

また、今後RightShipが検査対象船齢を引き下げるなどしてその範囲が広がってきますし、以前にはドライバルク・マネジメント・スタンダード(DBMS)も策定し、更にRightShipとINTERCARGO共同で、Dry Bulk Centre of Excellence (DBCE) を設立しており、今後ドライバルク業界においても要求事項は厳しくなっていくばかりであり、この「Welding Safety Inspection」も必須となってくると考えられます。